

すごいぞ！柏プロジェクト

2022年3月9日 第20号

第2弾初収穫！立派なほうれん草！

3月7日（月）、3年生の野菜づくり第2弾で育ててきたほうれん草を収穫しました。ほうれん草は、給食とお店の両方に出すことにしており、今回は給食に出す分だけを収穫しました。一人につきマルチ一穴分収穫することにしました。しかし、実際に収穫してみると、一穴に2～3つ植わっているところもあり、合計で94株のほうれん草を収穫することができました。12月の種まきからちょうど3か月後のことでした。



冬に育てるほうれん草は、夏に育てるときよりも、育つまでに2～3倍の時間がかかります。しかし、厳しい寒さを乗り越えて育つ分、葉が分厚く、味が甘くなると言われています。この冬は寒い日も多く、3学期の始業式は4年ぶりの大雪となりました。しかし、近藤さんにお借りしているトンネルの中で、3年生のほうれん草は寒さに負けず少しずつ成長してきました。そして、子どもたちも触って驚くほど、分厚く柔らかい葉をつけていました。初めての挑戦でしたが、無事に収穫の日を迎えることができ、子どもたちにも笑顔があふれていました。



収穫したほうれん草を給食に出してもらうために、実行委員が栄養教諭の河島先生に届けました。河島先生もほうれん草を見て「葉がとてもしっかりしていて、いいほうれん草です。」と、子どもたちの育てたほうれん草の出来栄をほめてくださいました。

そして、翌日の給食「かぶのシチュー」の中に、3年生のほうれん草が登場します。